

漢方製剤

神農三黄瀉心湯エキス錠

⚠ 使用上の注意

❌ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)

1. 本剤を服用している間は、次の医薬品を服用しないでください
他の瀉下薬（下剤）
2. 授乳中の方は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けてください

👤 相談すること

1. 次の人は服用前に医師または薬剤師に相談してください
 - (1) 医師の治療を受けている人。
 - (2) 妊婦または妊娠していると思われる人。
 - (3) 体の虚弱な人（体力の衰えている人、体の弱い人）。
 - (4) 胃腸が弱く下痢しやすい人。
 - (5) だらだら出血が長びいている人。
 - (6) 今までに薬により発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
2. 次の場合は、直ちに服用を中止し、この添付文書を持って医師または薬剤師に相談してください
 - (1) 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	悪心・嘔吐、食欲不振、胃部不快感、はげしい腹痛を伴う下痢、腹痛
 - (2) 1ヵ月位（鼻血に服用する場合には5～6回、痔出血、便秘に服用する場合には1週間位）服用しても症状がよくならない場合
3. 次の症状があらわれることがありますので、このような症状の継続または増強が見られた場合には、服用を中止し、医師または薬剤師に相談してください
軟便、下痢

〔成分・分量〕

6錠中

三黄瀉心湯乾燥エキス0.70gを含有しています。

日局ダイオウ・・・・・・・・・・1.0g	日局オウゴン・・・・・・・・・・1.0g
日局オウレン・・・・・・・・・・1.0g	

上記生薬量に相当します

添加物として、無水ケイ酸、ケイ酸A1、CMC-Ca、トウモロコシデンプン、ステアリン酸Mg、乳糖水和物を含有しています。

〔効 能〕

体力中等度以上で、のぼせ気味で顔面紅潮し、精神不安、みぞおちのつかえ、便秘傾向などのあるものの次の諸症：高血圧の随伴症状（のぼせ、肩こり、耳なり、頭重、不眠、不安）、鼻血、痔出血、便秘、更年期障害、血の道症^注

注）血の道症とは、月経、妊娠、出産、産後、更年期など女性のホルモンの変動に伴って現れる精神不安やいらだちなどの精神神経症状および身体症状のことです。

〔用法・用量〕

次の量を食前又は食間に水又はお湯にて服用してください。

年 齢	1 回 量	1 日服用回数
大人（15歳以上）	3錠	2回
15歳未満	服用しないこと	

食間とは…
食後2～3時間を指します。

〔保管及び取扱い上の注意〕

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。（誤用の原因になったり品質が変わることがあります。）
- (4) 吸湿しやすいため、服用のつどビンのフタをよくしめてください。
- (5) 本剤は生薬（薬用の草根本皮等）を用いた製品ですので、製品により色調等が異なる場合がありますが、効能にはかわりありません。
- (6) 本剤をぬれた手で扱わないでください。水分が錠剤につくと、錠剤表面が変色したり、亀裂を生じることがあります。
- (7) 使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。

本剤についてのお問い合わせは、お買い求めのお店あるいは下記にお願いいたします。

神農製薬 お客様相談室

電 話 045 (593) 5738

受付時間 9：00～17：00（土、日、祝日を除く）

神農製薬株式会社

〒321-3325 栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台 196-1